

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう御立西

公表日 2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	用途に応じて使い分けしている。	特に高学年の多い日には運動室の狭さを感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用者数に応じて職員の配置を決定している。	職員が急に休んだ時の対応に困る時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	タイムタイマー等を利用している。学習室、運動室など何をやる場所が分かりやすくしている。	玄関付近が死角となっており児童が何をしているのか見えづらい時がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日きちんと掃除機をかけたり、おやつや昼食前には机を消毒してから飲食するようにしている。	埃がある箇所もあり、毎日の掃除以外にも念入りに掃除をする時間を設ける必要がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	扉によって部屋を仕切って使用している。	完全に周りから孤立できる部屋がない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	疑問点や改善点などを職員間で共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表だけでなく日頃から保護者の意見を聞き職員間で共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	面談だけでなく、普段から話し合いをしやすい雰囲気作りに努力している。	その場にはいない非常勤職員に共有できていない時がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		行っていないが、第三者・訪問者等にいただいたご指摘やアドバイスをされた際には改善に努めている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内での全体研修は月に一度行われている。	職員のスキルアップにつながる研修がない
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	半年ごとに見直し説明を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	普段からアセスメントを行い、モニタリングを通じて保護者の意見をしっかりと聞き、支援計画に反映させています。	保護者のニーズや課題が分かりにくい場合がある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	日頃から、子どもについて意見交換を行い、その内容を計画作成に反映しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	ケアカンファレンスの際に、細かい点まで共有し、その内容を支援に活かしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	提供記録への記入だけでなく、他の職員にも情報を共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	それぞれの視点に基づき、具体的な支援内容が設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員全員が意見を出せる場を設けています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	他事業所のプログラムを参考にして、取り入れています。	必要なプログラムもあり、固定化している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	子ども一人ひとりの特性に合わせた活動を検討し、支援に活かしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	支援内容を確認し、役割分担についても詳細に決めています。	土曜日などの学校休業日に非常勤職員に周知できていない時がある
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	送迎時に、保護者から伺った意見も含めて情報を共有しています。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	提供記録、専門的支援の記録など細かく一人一人の記録を記入している	記録内容が重複してしまう時がある	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年ごとに、計画の見直しと説明を行っています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	ガイドラインに基づき、適切な支援が行えるよう努めています。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもに対して、いくつかの選択肢を用意しています。		
関係機関へ	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	主に児童発達支援管理責任者が出席し、意見を述べています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	送迎時に、学校関係者と情報交換を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者から学校の行事予定表を提示していただき、送迎などに支障がないよう対応しています。	急な行事等により送迎時間が変わるなどのトラブルもある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	相談支援事業所を通じて情報を共有しています。	

や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	相談支援事業所を通じて情報を共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		法人以外の研修を受ける機会がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5	外出時に公園などで一緒になる時があります。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		参加する機会がない
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や電話、連絡帳などを通じて細かく情報を伝え合い、共通理解を持つようになっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	支援学校や社会福祉協議会からの研修情報は、その都度職員に提供しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	新規契約時に、内容を丁寧に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	子どもの意見や希望を記入してもらう欄を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	モニタリングにおいて、保護者の意見をしっかりと傾聴し、必要な説明を行ったうえで同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	その都度、面談や電話などを通じて助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	年に一度、参観週および保護者会を設け、保護者同士が交流できる機会を提供しています。	きょうだい見守りが交流できる機会がない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情については、速やかに対応し、その内容を記録に残しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	夢通信・夢だより及びブログ等で月に一回発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取扱いに留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	全体への声掛けとは別に、個別での声掛けも行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	お盆や年末年始のご挨拶などを行っています。	住民を招待する機会がない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に地震と火災の避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	定期的に地震と火災の避難訓練を行っています。	職員だけの訓練は行っていない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	保護者から与薬票を提出していただき、服薬してもらっています。	予防接種については把握していない
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーのある児童については職員全員で食材について情報共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画について職員と情報共有しています。	非常勤職員については徹底できていない
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	新規契約時に説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	面に記録し、ミーティングなどに職員間で共有しています。	メモ等に残すことがなかなか出ていない
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年に一度、全職員が虐待防止に関する研修を受講しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	子どもが他害行為をしたり、事故に遭わないようにするための身体拘束については、やむを得ない場合があることを職員間で共通理解しています。	グレーゾーンの定義があいまいで分かりづらい	
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
保護者様からの評価はおおむね好意的な内容でした。職員間の自己評価では、普段の話し合いにおける情報共有の重要性を実感している内容が多く見られました。						